

※幼=幼稚園免許状、保=保育士資格 の略

必修・幼・保 幼必・保必 必修・幼 幼必修 必修・保 保必修 保選択必修 必修 選択必修 選択

教科目の系列	1年次		2年次		3年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
保育の本質・目的の理解に関する科目	教育原理 子ども家庭福祉 保育原理	教職論 社会福祉	子ども家庭支援論 社会的養護 I			保育の研究
保育の対象の理解に関する科目	発達心理学 子どもの保健			子ども家庭支援の心理学 子ども理解の理論及び方法 教育相談 特別支援教育 子どもの食と栄養		
保育の内容・方法の理解に関する科目	乳児保育 I 保育入門演習 幼児と言葉 音楽・基礎 造形・基礎	保育内容「人間関係」の指導法 保育内容「言葉」の指導法 乳児保育 II 子どもの健康と安全 障がい児保育 I 保育技術演習 幼児と健康 幼児と音楽表現 I 幼児と造形表現 I	教育方法論 障がい児保育 II 保育指導計画の方法 幼児と環境 幼児と音楽表現 II 幼児と造形表現 II 幼児と運動・遊び	保育内容「健康」の指導法 保育内容「環境」の指導法 保育内容「表現」の指導法 社会的養護 II 幼児と音楽表現 III	保育内容「表現」の指導法 II 子育て支援 保育者のためのピアノ I	保育総合表現 在宅保育 保育内容総論 保育者のためのピアノ II
実習	実習指導 I a	保育実習 I a	教職演習 幼稚園教育実習 I 保育実習 II 実習指導 II	幼稚園教育実習 II	実習指導 I b 保育実習 I b 保育実習 III 実習指導 III	ボランティア実践
応用・発展			子ども基礎研究 I	子ども基礎研究 II	保育実務研修 I 保育実務研修 II 保育教育実践演習 I 子ども研究 I	子育て支援演習 保育実務研修 III 保育実務研修 IV 保育教育実践演習 II 子ども研究 II
専修科目	吹奏楽 I	吹奏楽 II	吹奏楽 III 音楽理論 音楽心理学 器楽	吹奏楽 IV 音楽療法・基礎 器楽と表現活動 造形表現の展開 I 保育教材研究 スポーツ・レクリエーション I	吹奏楽 V 音楽療法・臨床 音楽療法総合演習 リトミック 造形表現の展開 II 障がい者スポーツ演習 スポーツ・レクリエーション II 特別支援教育研究	吹奏楽 VI 音楽療法・技法 スポーツ・レクリエーション III 療育技術応用演習

C P

①豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。
 ②子どもの健やかな成長、幸せのために、子ども理解を基に援助できる能力や、子育て支援に係る能力を育成する専門教育を実施する。
 ③実習や保育実務研修、子育てサロンへの参画など実践現場での学びと、関連する大学での学びとの往還によって、保育実践で求められる実務能力や社会人基礎力など保育力が身につく教育を実践する。
 ④保育のスペシャリストとして、社会の諸問題を解決するための知識・技能・思考力や、自らの持つ能力を伸ばすことのできる専門科目を設ける。

D P

①保育者の本質を理解し、保育者としての専門的知識に基づき、子ども理解に基づいた援助や適切な環境構成、子育て支援を行うための知識を修得することができる。
 ②保育の本質を基盤に、時代のニーズに柔軟に対応した保育実践及び改善を行うことができ、外部の資源を有効に活用することができる。
 ③保育実践に必要な保育技術や情報収集力を持ち、子どもとの連携を構築し、職員と協働するとともに、地域や保護者と連携できるコミュニケーション能力がある。
 ④豊かな教養と人間性、社会人基礎力を備え、常に資源能力の向上を図り、地域や保護者と連携し様々な課題に対応していくことができる。